

# 平成30年度 平岡中央小学校「健やかな身体」育成プログラム

学校番号：25512  
学校名：平岡中央小学校

「健やかな身体」育成プログラムのポイント

- ◎運動に親しむ機会や環境を設定・整備することで自ら運動に向かう意欲や態度を育む。
- ◎健康に生活するための知識と実践力を育む。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
標目	「健やかな身体」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆向上心をもち続け、運動に親しむ子ども</li> <li>☆自分の健康の保持増進をしようとする子ども</li> </ul>		
「健やかな身体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> ○縄跳び運動（リズム縄跳び）を準備運動等で行う。  ○スポーツテストに向けた取組を行う。	<b>【成果】</b> ⇒昨年度と比べ、2～6年のスポーツテストにおいて、全体的な数値の向上が見られた。全学年で「縄跳び運動」等に取り組んだことの影響も大きいと考える ⇒5年スポーツテストの「反復横跳び」「シャトルラン」で男女とも昨年に引き続き一定の水準を保った（男女とも札幌平均を上回った）。	<b>【課題】</b> □5年生では「敏捷性」「持久力」の男女とも数値の向上が見られたが、他の学年ではまだ課題があると考えられる。 □運動量の確保。遊ぶ集団づくり。 □ボール投げ運動の経験が不足。
	B 健康に関する指導の充実	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> ○学校給食を通じた地産地消やフードリサイクルの食育推進（全学年：清田野菜図鑑） ○助産師講師による性指導（4・6年生）	<b>【成果】</b> ⇒地場の野菜にどんなものがあるのかを理解が進んだ（清田野菜図鑑でのシール貼り）。 ⇒命の尊さについて現場にいる方から直接お話を聞くことで、強いメッセージを受け取ることができた。	<b>【課題】</b> □「野菜を食べることでどんな栄養的な効用があるのか」が視覚的に理解できる資料と指導の工夫が必要。給食の残菜が多い。 □助産師講師のような外部専門家の指導の継続と、他の学年への広がり
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<b>【取組の共有】</b> 縄跳び運動（リズム縄跳び）に全校で取り組み、敏捷性や持久力の向上を目標とするようなプログラムを構築する		
	A 体育に関する指導の充実	○縄跳び運動（リズム縄跳び）を発達段階に合わせて、低・中・高学年用に再編成し準備運動等で継続的に取り組んでいく。 ○全員遊びを工夫していくことで、子どもたちの集団づくりを図る（外遊びの励行や体を動かす場の設定と遊べる集団をつくる） ○体育においても「対話を大切にした授業づくり」をより一層推進し、人と学び合う方法を身に付ける（研究と運動）		
	B 健康に関する指導の充実	○食に関する指導の充実（栄養教諭との連携） ○健康に生活するための知識と実践力を育む（助産師講師による性指導などをめざす）		
方法	検証の方法	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○学校独自の児童アンケートや保護者アンケート等の活用 ○学校関係者評価の活用		